



台風18号 長尾谷川（松前中学校上流）^{いすい}溢水寸前か！



村井 慶太郎 議員

浸水被害の克服へ向けての抜本的な改善策は

問 台風18号の影響による風水害は本町にも多大な被害を及ぼし、本町始まって以来の避難勧告も出た。本町にとって、浸水被害の克服は永遠の課題であると思うが、浸水被害の抜本的な対策計画は。

答 **産業建設部長**
現在、まちづくり課が行っている浸水対策計画の策定状況を踏まえ、今後、効果的で実現可能な雨水計画を整備したい。



義農排水ポンプ、1棟だけでは限界が・・・



問 江川遊水池の計画と現在の進行状況は。

答 **産業建設部長**
公共下水道事業の雨水対策として、土川・早船川の雨水を江川遊水池に導き、松前港へ排水する計画がある。この計画は、事業費が莫大となることから事業の実施にいたっていない。

問 義農遊水池の排水施設は、現在1つの施設でポンプが2基稼働しているが、複数に増やす計画は。

答 **産業建設部長**
義農排水ポンプは、農作物の湛水被害を防止する目的で整備された施設で、本町にとって重要な内水排除施設である。

現在では都市的な土地利用となっている筒井地区の浸水を防ぐためには、排水能力が大幅に不足している。

このため、過去にはポンプの増設も検討されていたが、非常に大きな事業費が必要となることから実現していない。

抜本的な対策ではないが、浸水常襲地区の被害軽減を図るため、今年度は筒井地区を対象に、地形的な弱点や水路のネットワーク箇所を的確に把握していく。

既存の排水路網やポンプ施設を有効活用する前提で、効果的かつ財政的に実施可能な浸水対策計画を策定する予定である。